



埼玉県  
青島デンタルオフィス

青島 徹児  
先生

今回のアイテム

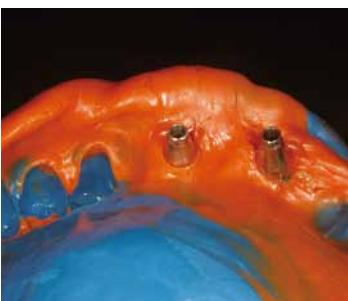
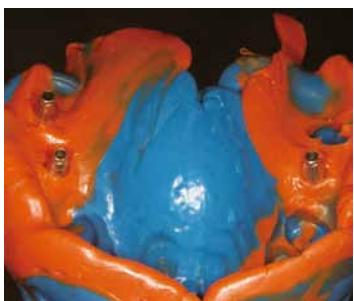
## ティク1アドバンストレーのボリュームタイプを使用して

現在、印象材の流動性や親水性は、技術の発達により色々なタイプが存在する。依然、クラウンやブリッジの精密印象は必ず各個トレーアを作成し、シリコン印象材で行っています。

しかし、現在のシリコン印象材は印象材の厚みが不均等でも硬化後の寸法変化が少ない為、既製のトレーリーにトレータイプの印象材とウォッシュユータイプの印象材で印象採得を行っている。

ティク1アドバンスのトレータイプは、練和直後の印象材に適度な硬さがあるため、親水性のあるウォッシュユータイプの印象材を歯肉縁下に押し込み、マージン部の精密な印象採得が良好に行える。

しかし、この組み合わせの印象方法は、数歯対象の片頸印象であれば、ガントタイプのカートリッジや、アシスタンントでも対応できるが、全顎印象となると力とスピードが必要となるため困難を要する。その為、この自動練習器用のボリュームタイプは、当オフィスにとって非常に重宝している。また、カートリッジに充填済なので、アルミパックをカートリッジに装填する操作は不要で、スムーズな交換が可能である。



ティク1アドバンストレーとティク1アドバンスLBウォッシュを用いたインプラントの印象。  
印象コーピングのズレも無く、精密な印象採得が行える。

## ティク1アドバンストレー(ボリュームタイプ)